

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	総合英語Ⅲ B (Inter)	
科目基礎情報							
科目番号	0098			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	Quest Stage 4 (エスト出版) 参考書: 総合英語 Forest (桐原書店)						
担当教員	荒川 吉孝,藤田 憲司						
到達目標							
英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	教科書の英文を理解し、適切な発音、抑揚、リズム、区切りで音読できる。			教科書の英文の要旨を理解し、相手に伝わるように音読できる。		教科書の英文を十分に理解、音読できない。	
評価項目2	口語および筆記で発信された情報を、迅速かつ的確に、理解することができる。			口語および筆記で発信された情報を、実践的な適応性を損なわない程度に、理解することができる。		口語および筆記で発信された情報を、十分に理解することができず、実践的な適応性に欠ける。	
評価項目3	文法、単語を活用して、自分自身や身の回りのことについて、正しく書いたり、話したりすることができる。			文法、単語を活用して、自分自身や身の回りのことについて、ある程度、書いたり、話したりすることができる。		自分自身や身の回りのことについて、書いたり、話したりするために、文法、単語を十分に活用できない。	
学科の到達目標項目との関係							
(E)							
教育方法等							
概要	2年で学習したことをさらに発展させ、総合的な英語力を身につけることを目的とする。英語力のアップは、英語に触れる絶対的な量を増やすことに尽きる。予習・復習・只管音読・只管筆写・多読を通して、英語による総合的なコミュニケーション能力を身につける。						
授業の進め方・方法	本文の内容について簡単な情報交換 新出単語、語句についての発音と意味を確認する。 本文の内容理解、設問に答える。 音声を聞き、音読練習をする。 文法事項を確認し、練習問題に取り組む。						
注意点	授業には必ず、英和辞典を持ってくること。 積極的に授業参加すること。 予習・復習は必須。 教員名 松井・荒川・藤田・ケイ 研究室 B-304・A-301・A-303・B-306 内線電話 8902・8906・8900・8907 e-mail: matsui・arakawa・k.fujita・jonathan それぞれに@maizuru-ct.ac.jpをつける						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明 9. 人物 (芸術)		英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。		
		2週	9. 人物 (芸術)		英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。		
		3週	10. 心理・言語		英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。		
		4週	11. 科学・自然		英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。		

		5週	11. 科学・自然	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		6週	12. 科学・環境	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		7週	12. 科学・環境	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	13. 生活・健康	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		10週	13. 生活・健康	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		11週	14. 人生・教訓	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		12週	14. 人生・教訓	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		13週	15. 科学・学問	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		14週	15. 科学・学問	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		15週	15. 科学・学問	英語のつづりと音との関係が理解できる。 既習の語彙を定着させ、半年で新たに300語程度の語彙を習得し、表現活動に応用できる。 高等学校学習指導要領に沿った文法事項や構文を定着させ、表現活動に応用できる。 長文読解力を身につけ、教科書レベルの長文を読むことができる。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
--	--	--	--	------------------------------------	---	---

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0